

# 「自立」した子どもに育てましょう

## 豊かな心を育てる家庭教育のすすめ

### (1) こんな子どもの姿がみられませんか？

- ① 朝から眠そうな子
- ② ことば遣いの乱暴な子
- ③ 友だちとの関係がうまくいかない子
- ④ バスや電車で席をゆずれない子
- ⑤ 帰宅や就寝等、時刻を守れない子
- ⑥ ゲームやテレビに長い時間夢中になっている子
- ⑦ 好き嫌いの多い子
- ⑧ 独りで食事をする子
- ⑨ 指示されないと行動できない子
- ⑩ 計画を立てて行動できない子

### (2) 今、子どもたちに必要なこと！

「しつけ」とは、「身」を「美しく」と書きます。「躰」です。「しつけ」は心の問題でなく、動作の「型」なのです。他の人にどういった体の動きが美しく感じてもらえるかという立ち居振る舞いなのです。この立ち居振る舞いは多くの日本人が長い年月をかけて鍛えてきた大切なものなのです。頭では学ぶことができない、理屈ぬきの訓練によって得られるものなのです。何度も何度も繰り返し、ある日突然その意味が分かるのです。

「躰」は、将来の子どもたちが社会へ自立していくための基盤となるものです。時や場合で例外をつくることなく、一貫した指導をすることが求められます。下に紹介している例を参考にして下さい。

## 今、ぜひ家庭で取り組んでいただきたい5つのこと

### ① 家族からあいさつの輪を広げましょう。

人間関係を作るうえで「あいさつ」と「返事」は重要です。まずは家族で「おはよう」からはじめましょう。



### ② 朝ご飯をしっかりと食べるようにしましょう。

子どもの心身の健康には、望ましい食習慣が大切です。規則正しい生活を送るためにも、「朝ご飯をしっかりと食べる」という習慣を身につけましょう。



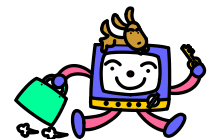
### ③ 家族一人一人の役割を決めましょう。

家族の手伝いは、家族の会話を増やすとともに、人の役に立つ喜びや自分の存在感を学ぶ機会となります。子どもが頑張れたら、必ずほめましょう。



### ④ テレビやゲームの時間を決めましょう。

子どもが無制限にテレビやゲームにのめり込まないよう、家庭で時間について決まりを設けることが大切です。



### ⑤ 読書に親しむ環境をつくりましょう。

読書は成長の糧、心の栄養素です。子どもが読書に親しむためには、家族で本を楽しんだり、読んだ本の話をしったりすることが効果的です。

